

牛久：学校周辺に見る自然

第23号 ひたち野西近隣公園(ひたち野うしく小)

2011年7月13日発行

＜ 夏の水辺公園で生きもの探検！ ～その1. トンボ 続報＞

7/11、ついでがあって、ひたち野うしく小3年生と歩いた水辺公園に寄って行きました。本当は、あまりに暑いので寄らずに帰ろうかとも思っていたのですが、思いがけず初めて見るトンボとも出会え、ラッキーでした。そこで、他の動物の紹介を後にし、トンボの続報を出すことにしました。

1. コフキトンボ (トンボ科 コフキトンボ属)



いずれもコフキトンボ。

よく見る模様のみス (左上)、オス (右中)、翅の端に褐色の帯があるメス (右上)、さらに翅全体がうす茶色で腹部も黄色っぽいメス (右下：光のかげんでそう見えたのかも)、帯のあるメスと飛びながらの交尾 (左下)

図鑑を見ていて、コフキトンボのメスに翅の端に赤褐色の帯があるものがあることを知りましたが、思いがけずこの日、そのオビトンボ型のメスを見ることができました。『羽化の刻』廣瀬誠 (茨城虫の会) によると、九州から近畿地方ではすべて左上のタイプ、沖縄地方や北海道ではすべてオビトンボ型、そして茨城では両方見られるもののオビトンボ型はだいぶ少ないようです。交尾しながら飛んでいるのを見て、改めて同じトンボなのだと確認しました。それにしても、オスとメスの違いだけでなく、同じメスでも模様の違うタイプがあり、それが地方によって割合が違うというのもおもしろいですね。私はますますトンボに興味をもってきました。

2. ショウジョウトンボ (トンボ科 ショウジョウトンボ属)



右は前回紹介したオス、左がメスですが、メスは全身黄色っぽい体で別のトンボのように見えますね。でもよく見ると、体の各部の形や、翅の形、模様は一緒なのです。前は

オスだけ見られましたが、今回は逆にメスだけしか見ませんでした。

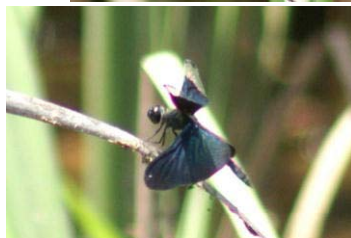
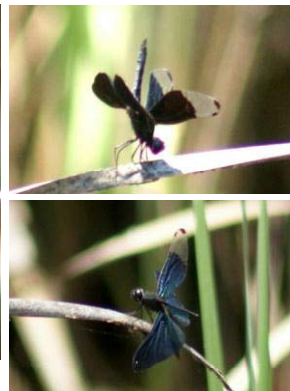


3. ウチワヤンマ (サナエトンボ科 ウチワヤンマ属)

写真が分かりにくいかもしれませんが、^{せんとうき}戦闘機の^{びよく}尾翼のように2枚開いた^{とつき}突起を確認できましたので、改めて写真の載せます。



4. チョウトンボ (トンボ科 チョウトンボ属)



久しぶりにチョウトンボを観察できました。右上の写真のようにひらひらとまるでチョウのような飛び方をしますが、トンボなのです。光の当たる角度によって、^{きんぞくこうたく}金属光沢のように光り輝き、いろいろな色に見えます。翅の動かし方も、よく観察してみるとおもしろいですね。私の好きなトンボの一つです。このトンボも含め、ここで観察したトンボたちが元気でいられるように、公園や下の田んぼ、小野川がよい状態に保たれるとよいと思います。【理科支援員 宮内】